

Quarterly Report

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

広報・IR部 〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7
 TEL：03-6202-5270(代表)
 www.ms-ad-hd.com

立ちどまらない保険。

MS&AD
 INSURANCE GROUP

2013年4月30日

2012年度第4四半期（1月～3月）のトピックスをご案内します。

1. 2013年1～3月の三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の営業概況（単純合算）

*速報ベース、傷害・一般計には長期医療を含む

第4四半期は、主力の自動車保険や火災保険の好調を主因として、一般計で2.3%増収し、年度累計でも前年比2.9%の増収となりました。

（単位：百万円）

種目名	第4四半期（1～3月）		年度累計（4～3月）	
	収入保険料	増収率	収入保険料	増収率
自動車	299,177	1.8%	1,221,819	2.6%
自賠責	90,280	4.0%	319,712	2.8%
火災	105,896	4.2%	426,230	6.3%
傷害	51,269	0.7%	212,567	1.6%
新種	65,039	▲2.1%	293,001	0.2%
海上	24,394	9.8%	103,266	3.5%
一般計	636,056	2.3%	2,576,596	2.9%

2. 主なニュースリリース（2013年1月～3月） ※カッコ内はニュースリリースの日付

(1) MS&ADホールディングス

○三井住友海上火災保険株式会社とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社の機能別再編に関する合意についてー世界トップ水準の保険・金融グループの実現に向けてー（1月31日）

当社、三井住友海上およびあいおいニッセイ同和損保は、2010年4月の経営統合後、持株会社傘下の保険会社の再編に関する協議を進めてきましたが、1月31日に、関係当局の認可等を前提として、2014年4月1日以降順次、機能別に再編することについて合意しました。

○フィリピン台風「ボーファ」の災害に対する義援金について（2月7日）

当社は、12月に発生したフィリピン台風「ボーファ」によって被害を受けられた方々の支援を目的にグループ各社の社員から義援金を募り、延べ1,812名の社員から約184万円の義援金が集まりました。また、災害時義援金マッチングギフト制度により、社員からの義援金額に対し同額を会社が拠出することで、総額約368万円をフィリピン赤十字社などへ寄贈しました。

(2) グループ各社

①国内事業

○外貨建定額終身保険の累計販売件数が5万件に到達（2月4日）

三井住友海上プライマリー生命では、2012年2月に販売を開始した外貨建定額終身保険の累計販売件数が、2013年2月1日時点で5万件に到達しました。豪ドルを中心に日本円より比較的高い利率で運用できる「外貨建て運用」や、業界初となる終身保険での「円建て資産自動確保」機能等がお客様から好評をいただき、大きなヒット商品となっています。

○「初回保険料後払制度」を開始（2月22日）

三井住友海上あいおい生命は、お客さまの利便性の向上や業務品質の向上を目的として、IT技術を活用し、生命保険の申し込み手続きの効率化と簡素化を進めています。その第一弾として、2013年4月1日以降にお申し込みの契約に対し、キャッシュレスで保障を開始する「初回保険料後払制度」の取り扱いを開始しました。保障開始の要件から「初回保険料の受領」をなくすことで、お申し込みと告知を同社が受領した時点から保障が始まり、契約成立後に口座振替等で初回保険料を払い込みいただくことが可能となりました。

○スマートフォン用ホームページ「らくらくナビ」を提供開始（2月28日）

あいおいニッセイ同和損保は、スマートフォンを持つシニアのお客さまが、ホームページを快適に利用いただけるよう、大きな文字と大きなボタン、電話連絡を中心としたシンプルなメニューのホームページ「らくらくナビ」を開設しました。「らくらくナビ」は、面倒なアプリのダウンロードが必要なく、インターネットに接続すればすぐに閲覧できるため、アプリをダウンロードできない機種を持つお客さまにも安心して利用いただけます。

○お客さまの身近な疑問や悩みにお答えする小冊子

『Why?シリーズ』の提供を開始（3月1日）

三井住友海上プライマリー生命は、お客さまに保険への関心を高めていただくため、身近な疑問や悩みにお答えする小冊子『Why?シリーズ』の提供を開始しました。『Why?シリーズ』は、「外貨運用」や「年金」「相続」等、保険商品をお選びいただく際に役立つ基本的な情報を提供することを目的として、11のテーマを用意しており、代理店とお客さまとのコミュニケーションツールとして活用していきます。

○マフレ・アシステンシア社（スペイン）との業務提携について（3月4日）

あいおいニッセイ同和損保は、世界5大陸で保険事業を展開するマフレグループの一社、マフレ・アシステンシア社と自動車の保証サービス事業について業務提携を行いました。同社は、マフレ・ワランティ・ジャパン社が国内で展開する自動車の保証サービスについて、日本のマーケット特性を反映したサービスの開発やマーケット開拓を支援します。一方、マフレ・ワランティ・ジャパン社は、お客さまニーズに応える良質な保証サービスを同社の代理店である自動車整備工場などへ提供します。

○津波被害を予測する新リスク評価システムを開発（3月11日）

三井住友海上は、インターリスク総研および米国大手自然災害リスク評価専門会社と協働で、津波による被害を予測する新リスク評価システムを開発しました。新津波モデルでは、南海トラフの連動型地震が発生した場合の被害予測のほか、地震の震源やマグニチュードが異なる様々なパターンの地震から想定される「津波」や「地震動」、「地震火災」について、発生頻度も考慮した被害予測が可能となりました。

○メンター・アワード2013優秀賞受賞（3月11日）

あいおいニッセイ同和損保は、「ワーキングウーマン・パワーアップ会議～仕事意欲に燃える女性と企業を応援する民間運動～」が主催する、第5回「メンター・アワード2013」において「優秀賞」を受賞しました。「メンター・アワード」は、女性の活躍を応援する組織風土の醸成や女性活躍推進の加速にむけて、メンターによるサポートの意義や重要性を広く普及させていくことを目的としており、同社の受賞は、男性役員をメンター、女性管理職をメンティとする「女性管理職メンター制度」が評価されたものです。

○「Green Power サポーター」の寄付先を決定（3月15日）

三井住友海上は、保険を通じた環境保護の取り組み「Green Power サポーター」の2012年度上期実績を金額換算し、総額2,046万円をインドネシアでの環境保護活動および東北3県（岩手県、宮城県、福島県）での震災復興支援活動に寄付しました。本制度は、当社のお客さまによる『Web約款』『電子契約手続』『リサイクル部品』『エコ整備・エコ車検』の4つの利用実績に応じて寄付を行うもので、2009年の開始以来、累計寄付金額は約8,162万円にのぼります。

②海外事業

○「太平洋自然災害リスク保険パイロット・プログラム」への参画について（1月18日）

三井住友海上は、2013年1月に設立された「太平洋自然災害リスク保険パイロット・プログラム」において、自然災害リスクの引受保険会社のうちの1社に選定されました。本制度は、日本政府と世界銀行が協力して設立したもので、保険市場が十分に発達していない太平洋島嶼国で一定規模の自然災害が発生した場合に、被災した国・地域へ迅速に復興資金を提供することを目的としています。世界的に大規模災害が増加する中、こうした制度の必要性はますます増しており、太平洋地域で初めてとなる本制度への参画により、同地域への社会的な貢献を果たしていきます。

○タイ洪水対策におけるクラウド活用システムが

「Celent Model Insurer Asia Award 2013」を受賞（3月26日）

三井住友海上は、米国のコンサルティング会社であるセレント社が主催した「Celent Model Insurer Asia Summit 2013」において、「Celent Model Insurer Asia Award 2013」を受賞しました。同社は、2011年に発生したタイ洪水において、被災されたお客さまへ保険金を迅速にお支払いするため、現地に対策室を設け、世界各地からスタッフを結集させました。今回の受賞は、スタッフが迅速に情報を共有するためのシステム「グローバル情報共有基盤」を、クラウドサービス上に約1週間という短期間で構築するなど、タイ洪水からの早期復興を目的にグループを挙げてシステム対応を行ったことなどが評価されたものです。

③リスク関連事業

○国内上場企業のBCM（事業継続マネジメント）導入実態調査を実施（2月25日）

インターリスク総研は、国内全上場企業3,205社を対象に、BCM（Business Continuity Management：事業継続マネジメント）の導入実態調査を実施し、回答状況をまとめました。2005年の開始から6回目となる今回の調査では、BCP（Business Continuity Plan：事業継続計画）策定率の上昇のほか、訓練を実施している企業数に大幅な増加が認められました。一方で、事業継続性を持続的に向上させるための仕組みづくりやBCP作成の全社展開といった、今後の課題が明らかになりました。

④環境・社会貢献活動・スポーツ

○～企業が語るいきものがたりPart 6～

企業と生物多様性に関するシンポジウムを開催（1月17日）

三井住友海上は、2月19日に企業と生物多様性に関するシンポジウム「企業が語るいきものがたりPart 6」を開催しました。本シンポジウムは2007年から毎年開催しているもので、今回は2012年10月にインドのハイデラバードで行われたCOP11（生物多様性条約第11回締約国会議）の成果や課題を整理し、最新の生物多様性の国際動向を踏まえて、企業が果たすべき役割や行動について紹介しました。

○2013年度「地域住民のためのコンサート」開催地および

「文化の国際交流活動に対する助成」助成先団体を決定（3月27日）

三井住友海上文化財団は、2013年度の「地域住民のためのコンサート」を共催する30の市町村と、「文化の国際交流活動に対する助成先」の15のアマチュア団体を決定しました。同財団によるクラシックコンサートは、今回決定した30公演を含めて累計681回にのぼります。また、音楽および郷土芸能の分野で地域における文化振興と国際交流を推進するアマチュア団体への助成は、今年度の15団体を含めて累計423件、2億7,300万円となりました。

○三井住友海上女子柔道部

- ・「2013グランプリ・デュッセルドルフ」（2月23日～24日）
ドイツ・デュッセルドルフで開催された「2013グランプリ・デュッセルドルフ」に2名の選手が日本代表として出場し、阿部香菜選手（63kg級）が準優勝、山岸絵美選手（48kg級）が3位に入賞しました。
- ・「2013グランドスラム・パリ」（2月9日～2月10日）
フランス・パリで開催された「2013グランドスラム・パリ」に阿部香菜選手（63kg級）が日本代表として出場し、3位に入賞しました。

以 上